

オペレーションに関わる ポリシー動向

- JANOG18での議論に関わるもの
 - 新IANA割り振りアドレスの到達性向上の提案
 - WHOIS登録情報への証明書発行
 - 4バイトAS番号の配布
- その他オペレーションに関わるもの
 - Lame DNSへの対策
 - 歴史的PIアドレスの回収・連絡先の明確化
 - WHOIS登録情報の見直し

JANOG18での議論に 関わるトピックス (I)

- 新IANA割り振りアドレスの到達性向上の提案
 - JANOG18の発表を基に RIRによる新IANA割り振りアドレスの到達性の試験実施等を提案(OCN吉田氏)
 - ミーティングではコンセンサスが得られたがその後反対を受け、否決→ニーズが高ければ再提案が必要
- RIRによるWHOIS登録情報への証明書発行
 - WHOISに登録するIPアドレス・AS番号、ルーティング情報へ証明書を発行するプロジェクトをRIRで実施
 - ルーティングセキュリティの向上等が目的のため、「経路ハイジャックについて考える」ことにもつながる

JANOG18での議論に 関わるトピックス (II)

- 4バイトAS番号の配布
 - 2007年1月1日より分配開始済み → “2.0 - 2.1023”の範囲から
 - JPNICより実験用AS番号専用のレンジを設けることをAPNIC22で発表したか、1番号を世界で共有できれば充分との意見あり

実験専用レンジを設けるニーズはあるか？それとも現状通りで問題はない？

その他オペレーションに 関わるトピックス (I)

- Lame DNSへの対策
 - JPNIC DBに登録されているlame逆引きDNSへゾーンの委譲を停止し、WHOISでlameと表示
 - Lameのサーバを登録しているネットワークの連絡先へlame対応の依頼がJPNICより送信される
 - Lame改善にご協力をお願いします
- 歴史的PIアドレスの回収・連絡先の明確化
 - 使用されていないアドレスの回収を今後実施
 - 当該アドレス管理者の連絡先明確化にあたり、上位のISPへご協力をお願いすることもある

その他オペレーションに 関わるトピックス (II)

- WHOIS登録情報の見直し
 - WHOISにおける個人情報保護対応、連絡体制強化のための事業者間の連絡先情報共有 (JPOPM10のコンセンサス)
 - 現在よりも細かく用途に分けて担当者情報を登録したいとの要望もあり、今後WHOIS WGで検討

WHOISの連絡先情報に関するご意見、WGメンバーは随時募集中。